

令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 東 洋 会

法人本部 ・ 養護(盲)老人ホーム喜望園
喜望園訪問介護事業所
東洋保育園 ・ 学童保育とうようキッズ
企業主導型事業所内保育所東洋保育園

令和元年度の主な事業報告

社会福祉法人 東洋会

社会福祉事業

1 法人本部関係

1) 理事会開催状況

開催年月日	出席者数	決 議 事 項
第1回 令和元年6月6日	理事6名 監事1名	・平成30年度事業報告について ・平成30年度決算報告について(監事監査意見報告) ・訪問介護事業所運営規程一部改正について ・次期役員候補者について ・定時評議員会の開催について
第2回 令和元年6月21日	理事6名 監事1名	・理事長の選任について
第3回 令和元年7月29日	理事6名 監事1名	・令和元年度1次補正予算及び東洋保育園の当初予算について ・企業主導型事業所内保育所の開設に伴う各種規程類の改正について
第4回 令和元年12月16日	理事6名 監事1名	・定款の変更について ・令和元年度2次補正予算について ・令和元年度第2回評議員会の開催について
第5回 令和2年3月19日	理事5名 監事1名	・給与・退職金規程の改正について ・令和元年度3次補正予算について ・令和2年度第資金収支予算について ・令和2年度事業計画について ・令和元年度第3回評議員会の開催について

2) 評議員会開催状況

開催年月日	出席者数	決 議 事 項
第1回(定時議会) 令和元年6月21日	評議員7名 監事1名	・平成30年度事業報告について ・平成30年度決算報告について(監事監査意見報告) ・理事及び監事の選任について
第2回 令和元年12月24日	評議員7名 監事1名	・定款の変更について ・令和元年度2次補正予算について
第3回 令和2年3月27日	評議員7名 監事1名	・給与・退職金規程の改正について ・令和元年度3次補正予算について ・令和2年度第資金収支予算について ・令和2年度事業計画について

3) 決算・監事監査の実施

令和元年5月29日 午前10時00分～午前11時30分迄

開催場所：喜望園1階会議室 吉松 敏晴・大森 文男両監事にて実施

2 喜 望 園 関 係

1 運 営 管 理

- ・ 同行援護サービス及び外部介護サービス利用者は、個別のサービスの提供を受けることにより、実情に合ったより質の高い介護・介助サービスを利用でき利用者の安心につながった。
- ・ 他の関係機関、施設及び医療機関等との連携を更に強化することで、多種多様なニーズに対応可能な施設運営に努めた。
- ・ 利用者の高齢化に伴い更なる自立支援を目指せるよう環境の整備に心がけ、清潔・安全でより過ごしやすい生活環境の提供に努めた。
- ・ 養護盲老人の専門施設として、職員の介護技術の向上を目指し施設内での研修と共に職員各人のレベルに合わせた外部研修への参加や、職員の資格取得者の増員に取り組んだ。

2 相 談 ・ 援 助 サービス

- ・ 各種業務マニュアルを見直し・再構築を実施し質の高いサービス・ケアの提供に努めた。更に必要な情報の共有化を図ることで、利用者個人に合ったサービス・ケアが提供できると共に各部署間のより綿密な連携につながった。

3 地 域 交 流

- ・ 関係各所の団体との情報や意見の交換を行い、地域に根ざした地域福祉の発信源となるよう施設運営を目指した。
- ・ 実習生やボランティア等の受け入れを積極的に行い、世代間の交流を促した。
- ・ 地域社会に開かれた施設運営を目指し、その一環として川永地区社会福祉協議会主催の「ふれあい食事会」の開催に協力した。
- ・ 地域貢献活動として、プルタブ及びペットボトルキャップの収集に努めた。
- ・ 生活支援体制整備事業として「花のまちづくり」に取り組んだ。

4 入退所状況

- ・ 31年度内入所者数 8名（男性 3名・女性 5名）
- ・ 31年度内退所者数 7名（男性 3名・女性 4名）

令和2年3月31日現在入所者数 60名

＊ 研 修

令和元年度研修等参加状況

(外部機関による研修・定例会)

▼老人福祉施設協議会等主催研修

開催日程	研修会名	開催場所
5月24日 1日研修	防火管理者連絡協議会 意見交換会	グランヴィア和歌山
7月18日～ 7月19日	近畿老人福祉施設協議会 2019年度研究協議会	大津プリンスホテル
7月20日 1日研修	第44回近畿地区盲老人福祉施設 相談員連絡協議会	日本ライトハウス 情報文化センター
7月24日 1日研修	和歌山県老人福祉施設協議会 元年度第1回養護委員会	ビッグ愛
9月30日 1日研修	和歌山県老人福祉施設協議会 元年度第2回養護委員会	養護老人ホーム椿園
10月18日 1日研修	公正採用選考推進員研修	ビッグ愛
11月 1日 1日研修	和歌山市 人権擁護推進員研修会	和歌山市民会館
11月 8日 1日研修	和歌山県老人福祉施設協議会 養護老人ホームにおけるケアプラン研修	ビッグ愛

▼職員園内研修

開催日程	研修会名	対象者
4月10日～ 5月5日	移動介助研修	全職員
6月	身体拘束研修	全職員
6月	手洗い研修	全職員
9月11日～12月17日	身体拘束研修	全職員
10月	吐物研修	全職員
10月・11月	理念について	全職員
11月	人権擁護研修	全職員
2月	嘔吐物処理研修	全職員

＊主な設備・修繕工事実施状況

実施月	実施内容	金額
4月	エアコン移設工事	¥231,444
7月	喫煙室エアコン修理	¥74,304
	厨房内洗面台取替	¥81,205
8月	食器乾燥機修理	¥92,880
1月	浄化槽原水ポンプ取替	¥88,000
2月	軽自動車（福祉車両）購入	¥1,017,520
3月	消防設備修理	¥53,900
	給水設備修理	¥203,500
合 計		¥1,842,753

* 医務・看護関係

1 定期健康診断(利用者・職員)

前期……平成31年 4月24日(水)他

利用者……胸部レントゲン・血液検査・尿検査・心電図・血圧・身長・体重

職 員……胸部レントゲン・血液検査・尿検査・心電図・血圧・身長・体重

視力・聴力・腰痛検査

後期……令和元年10月23日(水)他

利用者……尿検査・心電図

職 員……尿検査・心電図・血液検査(夜勤従事者)

腰痛検査(腰部に負担のかかる作業に従事する職員)

2 検査後精査実施

米田医院・宇都宮病院・その他医療機関

3 インフルエンザ予防接種

利用者……全員接種

職 員……2名接種せず

発症者……なし

4 嘱託医による週2回の診察

眼科医による月1回の往診

5 医療機関別入院者状況表

病 院 名	延人数	延泊数	主 な 病 名
宇都宮病院	9	353	肺炎、誤嚥性肺炎、大腸がん、摂食障害
田村病院	3	153	気分障害、統合失調症
中江病院	2	117	右大腿骨頸部骨折
日赤和歌山医療センター	4	114	洞不全症候群、腸閉塞、消化管出血
誠佑記念病院	4	106	うつ血性心不全
那賀病院	2	93	大腸がん、肺炎
古梅記念病院	1	65	左大腿骨頸部骨折
延べ数合計	25	1001	
	実人数	13	

6 主な外来通院診療科目

通院診療科目	延人数	通院診療科目	延人数
内 科	13	皮膚科	6
循環器科	21	耳鼻咽喉科	13
外 科	31	泌尿器科	7
整形外科	176	精神科	12
眼 科	2	その他	7
歯 科	56		
		延合計人数	344

※受診者数には往診(内科、眼科)の受診者は含まない。

＊ 調理・食事関係

- 1 嗜好調査を重視し献立作成をおこなった。
- 2 利用者状況等の伝達を密にするため、午前、午後と二回のミーティングを実施した。
- 3 調理員専用日誌を作成し、リーダー制を導入した。
- 4 主食を計量し、個々の量を調整した。（カロリー摂取制限）
- 5 味付けを統一するため、調理マニュアルを作成し調理した。
- 6 利用者の状態に合わせた食器、スプーン等を準備し使用してもらった。
（主菜について常食者と刻み食者用の器を変えた）
- 7 食物アレルギーがある方には、代替えの食事を提供した。
- 8 厨房環境の衛生管理、食品の衛生に努め、随時点検を行った。
- 9 食中毒防止のため、ブラストチラーによる冷却調理を行った。
- 10 毎週、食品の賞味期限及び在庫についてチェックを行った。
- 11 主食、汁物、麺類、お茶等温かいものは適温で提供した。（入る順に配膳）
- 12 クッキングクラブ(クレープ作り)を実施した。（参加者約20名）
- 13 行事食は季節感を味わえる献立にし、8月の夏祭りは、バイキング形式にし、焼き鳥、たこ焼き、焼きそばなどのメニューで、お祭りの雰囲気味わってもらった。
- 14 各月にセレクト食を実施し、2種類の献立から選択してもらった。
- 15 和歌山市の嚥下食一覧表を参考にして、嚥下調整食1・嚥下調整食2・嚥下調整食3・嚥下調整食4と主食と副食の形態を分類した。
- 16 酵素の作用で、肉類及び魚介類を柔らかくするソフト食材代に取り組む。
- 17 酵素の作用で、飲み込みやすいゼリー状のお粥を提供した。

＊ 防災関係

- 1 利用者が高齢視覚障がい者であり、病弱化が進行している事を十分に配慮しながら火災・地震などの災害発生時に対応できるよう防災訓練を定期的実施し、利用者、職員の防災意識の喚起、防災への理解度向上に取り組んだ。
- 2 日常業務において重度者の状態についての情報を共有化し、緊急時においても迅速な対応が出来るよう配慮している。
- 3 和歌山市防火管理者連絡協議会主催の会議や講習会に積極的に参加することにより、地域の防災組織との連携強化に努めた。
- 4 定期の防災訓練を通じて、避難経路を習得できるよう取り組んだ。

当施設は養護老人施設という環境である為、恒常的に啓蒙活動を実施し災害時の対応、防火などの意識高揚に心がけなければならない、職員の意識・理解度向上が責務であると考えています。非常用食品・非常時の避難経路確認・火の始末・災害情報の収集、伝達など多岐にわたる対応を日常的・恒常的に心がけております。

令和元年度 養護（盲）老人ホーム 喜望園 事業報告

	生 活 支 援 計 画				職員関係	設備・整備関係	保守点検等
	年間行事計画	月別計画	クラブ・余暇活動	その他			
4月	お花見	ふれあいの会 訪問理美容 防災訓練 ケース会議 健康診断 移動販売	朗読 カラオケ		職員会議（理念・委員会発表） 事故防止委員会 健康診断 職員研修（移動）	屋外清掃 害虫駆除 空調機清掃	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
5月	端午の節句の集い	訪理美容 ショッピング ケース会議	朗読 カラオケ	菖蒲湯	職員研修（移動）	害虫駆除 食器・食器棚点検	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
6月	お楽しみ会	ふれあいの会 訪問理美容 ケース会議 移動販売	朗読 カラオケ 合同なかよし会	真山みき 来園	主任会議 腰痛検査 職員研修（身体拘束） 職員研修（吐物・手洗い）	害虫駆除 厨房内清掃 冷凍・冷蔵庫内点検 空調切換	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
7月	七夕の集い 創立記念	訪問理美容 防災訓練 ショッピング ケース会議	朗読 カラオケ	盲学校マッサージ訪問 岬マンドリン 来園 大正琴サークル花 来園	事故防止委員会	害虫駆除 車両清掃	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
8月	夏祭り お盆の法要	ふれあいの会 訪問理美容 ケース会議 移動販売	朗読 カラオケ		事故防止委員会	害虫駆除 空調機清掃	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
9月	敬老の集い	訪問理美容 ショッピング ケース会議	朗読 カラオケ 合同なかよし会	お彼岸の法要 大正琴サークル花 来園	主任会議 事故防止委員会 嗜好調査 職員研修（身体拘束）	害虫駆除	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
10月	運動の会	ふれあいの会 訪問理美容 ケース会議 移動販売 健康診断	朗読 カラオケ クッキングクラブ		事故防止委員会 健康診断 職員研修（吐物） 職員研修（理念） 職員研修（身体拘束）	害虫駆除 貯水槽清掃・消毒	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス 水質検査 建築物調査及び 設備定期検査
11月		訪問理美容 防災訓練 ショッピング ケース会議	朗読 カラオケ	インフルエンザ予防接種	事故防止委員会 インフルエンザ予防接種 職員研修（身体拘束） 職員研修（理念）	害虫駆除 空調切換	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
12月	クリスマス会 忘年会	訪問理美容 ケース会議 移動販売	朗読 カラオケ	ゆず湯 年賀状受付	主任会議 職員研修（身体拘束）	害虫駆除 食器・食器棚点検 冷蔵庫点検 空調機清掃 ワックス掛け 車両清掃	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
1月	新年会	訪問理美容 防災訓練 移動販売 ケース会議	朗読 カラオケ		事故防止委員会	害虫駆除	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
2月	節分	訪問理美容 ケース会議 移動販売	朗読 カラオケ		事故防止委員会 職員研修（吐物） 腰痛検査	害虫駆除	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス
3月		ケース会議			主任会議	害虫駆除	電気点検 エレベーター点検 浄化槽点検 設備メンテナンス （ボイラー） 消防点検
その他	◎地域貢献事業	◎研修及び勉強会 ・全盲老連各職種別研修、勉強会 ・その他、各職種別研修、会議 ・施設内研修、勉強会		◎事故防止委員会（※緊急時は随時開催） ・防災関係・・・4. 9. 1月 ・感染症／食中毒・・・4. 8. 11. 2月 ・身体拘束廃止委員会・・・5. 7. 11. 12月 ・その他の事故・・・4. 8. 10. 1月			

3 喜望園訪問介護事業所関係

指定居宅サービス事業者及び指定介護予防サービス事業者の指定を受け、平成18年4月1日に喜望園訪問介護事業所(養護盲老人ホーム内)を設立し、平成18年7月15日より喜望園入所者16名に対して介護サービスを開始。

「令和2年3月31日現在のスタッフ」

- ・ 管 理 者 1名(介護福祉士・訪問介護員と兼務)
 - ・ サービス提供責任者 1名(介護福祉士・訪問介護員と兼務)
 - ・ 訪問介護員 17名(管理者、サービス提供責任者除く)
- (専任ヘルパー：介護福祉士 1名)
- (支援員等と兼務：介護福祉士13名、初任者研修(旧2級ヘルパー) 4名)

「31年度月別・介護度別利用状況一覧」

月	介 護 度	人 数	合 計
4	1	0	14
	2	0	
	3	1	
	4	6	
	5	7	
5	1	0	13
	2	0	
	3	1	
	4	6	
	5	6	
6	1	0	15
	2	0	
	3	1	
	4	6	
	5	8	
7	1	0	15
	2	0	
	3	1	
	4	5	
	5	9	
8	1	0	14
	2	0	
	3	1	
	4	5	
	5	8	
9	1	0	13
	2	0	
	3	1	
	4	5	
	5	7	

月	介 護 度	人 数	合 計
10	1	0	14
	2	0	
	3	1	
	4	5	
	5	8	
11	1	0	13
	2	0	
	3	1	
	4	4	
	5	8	
12	1	0	13
	2	0	
	3	1	
	4	4	
	5	8	
1	1	0	12
	2	0	
	3	1	
	4	4	
	5	7	
2	1	0	13
	2	0	
	3	1	
	4	5	
	5	7	
3	1	0	13
	2	0	
	3	1	
	4	4	
	5	8	

4 令和元年度とうようこども園関係

1・保育園の運営

(1)定員150名

(2)年間入所児童数(各月初日現在)

単位:人

年 齢	クラス名	平成31年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和2年 1月	2月	3月
5歳児年長	ゆり	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
4歳児年中	すみれ	27	27	27	27	27	27	27	27	27	28	28	28
3歳児年少	もも	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
	さくら	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
2歳児	たんぽぽ	12	12	12	12	12	12	13	13	14	14	14	14
	ちゅうりっぷ	12	12	12	12	12	12	12	14	15	15	15	15
1歳児	つくし	17	18	18	19	21	21	22	23	23	22	22	21
0歳児乳児	つぼみ	6	7	7	7	8	9	10	12	11	12	12	12
合 計		129	131	131	132	135	136	139	144	145	146	146	145

(3)乳児保育促進事業の実施

年度途中の需要に対応し、乳児保育の一層の推進を図ることを目的として実施した。

上記0歳児人数参照 1ヶ月平均乳児人数9.4人

(4)延長保育促進事業の実施

延長保育に対する需要に対応し、児童の福祉の増進を図ることを目的として実施した

単位:人

月	月別利用人数			月	月別利用人数			月	月別利用人数			月	月別利用人数		
	標準時間	短時間	1号認定児		標準時間	短時間	1号認定児		標準時間	短時間	1号認定児		標準時間	短時間	1号認定児
4	14	21	0	5	19	16	1	6	19	16	1	7	19	16	1
8	20	18	2	9	17	15	2	10	27	19	2	11	24	14	3
12	22	15	0	1	29	13	2	2	23	19	3	3	20	15	2

・標準時間保育認定児・・・18時～19時

・短時間認定児・・・7時～8時及び16時15分～19時

・1号認定児・・・7時～8時30分及び14時30分～19時

以上の範囲内で早朝・延長保育を実施

(5)障害児保育事業の実施

こども園の施設及び職員の配置等適切な保育条件のもとで障害児保育を実施した。

(6)職員の状況

平成31年4月1日現在

単位:人

	園長	主幹	保育教諭	保育士	看護師	保育補助	栄養士	調理員	事務主任	学童指導員	計
正規職員	1	2	10	1	1		1	〈1〉	1		17<1>
非常勤職員			11	2		1		3		5	22

< > 育児休暇取得中

令和2年3月31日現在

単位:人

	園長	主幹	保育教諭	保育士	看護師	保育補助	栄養士	調理員	学童指導員	計
正規職員	1	2	10	1	1		1	1		17
非常勤職員			12	2		2		3	4	23

(7)災害危険防止等防災訓練等の実施状況

	訓練内容	内 容
4月	全体集会	避難の仕方、訓練の大切さを伝え、避難経路の確認をした。
5月	火災	各クラス子どもの安全を確認しながら避難した。
6月	大雨・洪水 (紀の川氾濫)	各クラス子どもの安全を確認しながら避難した。
7月	防犯	職員の劇を通じて安全教育をした。
8月	火災	各クラスで災害時の避難の仕方を話し合った。
9月	防犯	警察官に来てもらい防犯教室を開いた。
10月	地震	各クラス子どもの安全を確認しながら避難した。
11月	安全行動訓練	和歌山市一斉安全行動訓練に参加をした。
	火災	消防署立ち合いのもと、各クラス子どもの安全を確認しながら避難した。
12月	火災	各クラス子どもの安全を確認しながら避難した。
1月	地震	訓練の大切さを伝え、再確認をした。
2月	防犯	職員の劇を通じて安全教育をした。
3月	大規模災害想定	地震により園舎崩壊。各クラス子どもの安全を確認しながら園外に避難した。

* 交通安全教室については、9月に和歌山市より交通安全指導員を派遣してもらい実施した。

(8)食育の実施状況

- ・クッキング保育(幼児クラスが年間を通じて行った)
- ・野菜の栽培
- ・給食展示
- ・給食メニューレシピ紹介(誕生会時にプリントにして配布)
- ・給食試食(幼児クラス誕生会)
- ・栄養士による各保育室への「栄養のはなし」や月便りの配布

(9)幼児クラスの誕生会実施状況

- ・幼児クラスの誕生月の保護者を保育園に招き、誕生会に参加してもらい子どもの誕生一緒に祝った。給食の試食も兼ねて参加してもらった。

(10)健康管理の実施状況

- * 園児
 - ・内科検診 5月 11月
 - ・眼科検診 5月
 - ・歯科検診 6月 10月
 - ・検尿検査 5月 11月
 - ・身長・体重測定(毎月)
 - ・毎月ほけんだよりを発行して、健康管理や感染症などの注意を促した。
- * 職員
 - ・健康診断(新学期に1回)
 - ・検便検査(毎月1回)
 - ・インフルエンザワクチンの接種(年1回)
- * 看護師・各保育室の巡回
 - ・必要な園児への投薬

(11)専門講師による保育

日常の保育の中で、専門の知識を身に付けた外部講師が年間を通じて各年歯せて行った。

体操	＜年少 年中 年長児＞	コスモスポーツクラブ
	年間指導回数	38回
英語	＜年少 年中 年長児＞	トレイシーイングリッシュスクール
	年間指導回数	20回
ペン習字	＜年長児＞	ペン習字講師 前田
	年間指導回数	30回
スイミング	＜年長児＞	アドヴァンスむそたスイミング体験
	6・7月の年	3回

(12)職員研修等

- ・1年を通じて県内外の研修会に参加をして資質向上に努めた。
- ・こども園にて救急実技研修を受けた。

(13)苦情解決相談窓口への申出

平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

申出件数	1 件	(園内で解決に至った)
------	-----	-------------

(14)実習生の受け入れ

- | | | |
|------|-------------|----|
| ・実習生 | 大阪千代田短期大学 | 1名 |
| | 大阪芸術大学短期大学部 | 1名 |

(15)地域との関わり

- ・未就園児のお子さんを対象にこども園内で年に15回「めばえルーム」を開催し
- ・未就園児親子を対象に、月2回の園庭開放を実施した。
- ・三宝幼稚園5歳児と交流会を行った。
- ・川永小学校児童と年長児と交流会を行った。
- ・紀伊の里8月のお誕生会に参加した。(年長児)

(16)主な設備・改修工事・備品購入等実施状況

和歌山市より
交付金

- | | |
|---------------|----------------|
| ・保育所施設機能強化推進費 | 150.000円 (補助金) |
| | 17.340円 (自己資金) |
| | 167.340円 (総合計) |

＜内訳＞	各クラスピアノ転倒防止工事	146.340円
	乳児クラス用非常持ち出しセット	21.000円

(17)その他

- ・平成31年4月1日より幼保連携型認定こども園に移行

5 令和元年度東洋キッズ関係

(令和元年度 東洋キッズ事業報告)

4月	プラバンキーホルダー製作・おかし持ち帰り
5月	子どもの日(おかしと作品持ち帰り)
6月	
7月	水あそび クッキング(焼きそば・かき氷) 貯金箱製作
8月	お楽しみ会 水あそび クッキング 夏休み製作
9月	敬老の日作品
10月	ハロウィンパーティー(おかしと作品持ち帰り)
11月	七五三(のし飴と作品持ち帰り)
12月	クリスマス会 クッキング(ケーキ飾り付け) 避難訓練 クリスマス製作
1月	もちつき
2月	節分(作品持ち帰り)
3月	ひなまつり(おかしと作品持ち帰り) お別れ会 (クッキング)

6 令和元年度企業主導型事業所内保育所 東洋保育園関係

1・保育園の運営

公益財団法人児童育成会より企業主導型保育事業として承認。

認可外保育施設として、事業所内保育事業を主軸とし、地域における公益的な取組一環として運営を実施した。

(1)定員12名

定員内訳 2歳児・5名 1歳児・4名 0歳児・3名

(2)令和元年8月1日開園(各月初日現在)

単位:人

歳児	月					令和 元8	9月	10月	11月	12月	令和2 1月	2月	3月
2歳児						0	0	0	0	0	0	0	0
1歳児						0	0	0	0	1	1	1	1
0歳児						0	0	0	1	2	4	5	7
合 計		0	0	0	0	0	0	0	1	3	5	6	8

(3) 預かりサービス(余裕活用型)実施

定員12名に対して空きがあったため、空きスペースを有効活用し預かりサービスを実施した。
1ヶ月平均1人利用

(4) 職員の状況

令和元年8月1日現在

単位:人

	園長	保育士	事務員				計
正規職員	1		1				2
非常勤職員		1					1

令和2年3月31日現在

単位:人

	園長	保育士	看護師	事務員			計
正規職員	1			1			2
非常勤職員		2	1				3

(5) 災害危険防止等防災訓練等の実施状況

	訓練内容	内 容
8月		園児なし
9月		園児なし
10月		園児なし
11月	安全行動訓練	和歌山市一斉安全行動訓練に参加をした。
12月	火災	各クラス子どもの安全を確認しながら避難した。
1月	火災	各クラス子どもの安全を確認しながら避難した。
2月	火災	各クラス子どもの安全を確認しながら避難した。
3月	大規模災害想定	地震により園舎崩壊。子どもの安全を確認しながら園外に避難した。

(6) 健康管理の実施状況

- * 園児
 - ・内科検診 11月
 - ・歯科検診 11月
 - ・検尿検査 11月
 - ・身長・体重測定(毎月)
 - ・毎月ほけんだよりを発行して、健康管理や感染症などの注意を促した
- * 職員
 - ・健康診断(新学期に1回)
 - ・検便検査(毎月1回)
 - ・インフルエンザワクチンの接種(年1回)
- * 看護師
 - ・園児・職員の健康管理(2月～)

(7) 苦情解決相談窓口への申出

平成30年4月1日～平成31年3月31日まで

申出件数 0 件 (全て園内で解決に至った)

(8) 地域との関わり

- ・大屋都姫神社参道清掃
- ・とうようこども園園児との交流

(9) 主な設備・改修工事・備品購入等実施状況

- ・園舎増改築につき備品購入有

(10) その他

- ・令和元年(2020年)8月1日より運営開始。宇田森57-1にて保育開始
園構造 鉄骨造 敷地全体 1,276.41㎡ 園庭 429.68㎡